

**令和5年度第2回愛媛県新居浜・西条構想区域
地域医療構想調整会議の会議結果について**

- 1 会議の名称 令和5年度第2回愛媛県新居浜・西条構想区域地域医療構想調整会議
- 2 開催日時 令和6年3月7日（木）19：00～20：30
- 3 開催場所 東予地方局 7階 大会議室
- 4 出席者 委員21名、随行者8名、講師1名、アドバイザー1名（Web参加）、オブザーバー1名（web参加）、医療対策課2名、県立病院課1名、事務局11名
- 5 傍聴者 なし
- 6 議題及び内容（部分公開）

資料に沿って説明を実施。

 - （1） 地域医療構想について
 - ① 講演「定量基準分析による病床機能報告の分析結果」

株式会社日本経営 リサーチ&インテリジェンス事業部 部長 角谷 哲 氏
 - ② 今後の地域医療構想について（医療対策課）
 - ③ 新居浜・西条構想区域の病床機能の状況について（保健所）
 - （2） 公立病院経営強化プランについて
 - ・愛媛県立新居浜病院（県立病院課）
 - ・西条市立周桑病院（西条市）
 - （3） 外来機能報告について（保健所）
 - （4） 保健医療介護コーディネート事業多職種連携研修会について（保健所）
 - （5） 地域医療介護総合確保基金について（保健所）【非公開】

【質疑・主な意見】

- 今後、救急が厳しい状況が続き、大学病院からの派遣もより一層厳しくなっていくことが予想され、突然救急が破綻することは避けなければならない。
- 個別の病院に負担が集中しており、マンパワー頼りとなっているが、すべての医療機関の人員を充足させることは困難であり、解決するには役割分担を真剣に考えないといけない。
- 救急医療は愛媛県全体としてどうにか均衡を保っているが、将来的に松山医療圏も限界が来るので、各医療圏で自己完結できる体制を構築しないと破綻する恐れがある。
- 紹介受診重点医療機関を選択するというのも、役割分担するうえで重要な意味がある。
- このままでは救急が破綻しかねないので皆さん一歩踏み出してもらいたい。
- 住民の皆さんにも救急受診についてわかってもらいたいので啓発等もすすめていただきたい。